OKAYA ECHO

岡谷エコーロータリークラブ RI2600 地区諏訪グループ

2020-2021年度 会長 長田香　幹事 井口光世

●永遠のテーマ 地球のために何かをしたい

ROTARY CLUB OF OKAYA ECHO WEEKLY

vol. 1318　2021.6.21

クラブ協議会 『会長年間報告・同好会報告』　担当:役員・同好会学長

◆会長挨拶

本日は先週に引き続きクラブフォーラムになっており、委員会活動報告、同好会報告、と会長年間報告です。宜しくお願いします。

１年間この場に立たせて頂き、私なりに素晴らしい経験をさせて頂きました。どこまで皆様に満足して頂けたか、又皆さんの要望、希望に添うことが出来たかは、皆さんの評価ですが、私自信素晴らしい成長の１年を過ごさせて頂きました。本当に有難うございました。

本日は後程私の年間報告もございますので２点報告をさせて頂き短い挨拶と報告に替えさせて頂きます。

先日６月８日に岡谷市へ医療従事者支援金を渡して来ました。岡谷市副市長さん、岡谷病院事務部長の城田さんもお見えになりこの時期として大変うれしく、有効的に使わせて頂きます、と喜んでおりました。今回の支援金も当クラブの公共イメージ向上に１役かっているのではないかと自負しております。

残念ですが退会者の報告を２名させて頂きます。柳沢欣悟君は仕事の都合により昼間の例会に出られないなど。小口弘夫さん、チャーターメンバーでありエコーロータリー３１年間お力添えを頂き誠に残念でありますが、本人の意思も固くここで退会となります。刈学、夜間例会への出席はして頂くようお願いしてありますので長年の感謝の言葉をお掛け下さい。

◆幹事報告

・ＩＭ　ＤＶＤ 配布
・岡谷市への医療従事者への寄付のお礼状
・28日6時30分より 最終夜間例会　ゲスト　松山三四郎さん
・28日例会前 5時30分より 最終理事会

◆次年度幹事報告
・本日例会前に理事会開催
　※予算以外次年度計画が承認

◆委員会・同好会報告

《環境保全委員会》

八ヶ岳のコマクサ保護活動支援事業：コマクサ保護活動の支援金を贈呈

岡谷エコーロータリークラブは、６月19日（土）に八ヶ

岳のコマクサ保護活動に取り組んでいる硫黄岳山荘の浦野岳孝社長に保護活動の支援金を贈呈致しました。本年は、メンバー４名が八ヶ岳稜線にある硫黄岳山荘まで登り支援金の贈呈式を行いました。

この事業は、八ヶ岳で一時減少してしまったコマクサを先代であるお父さんから２代にわたってコマクサを守ろうと保護に取り組んでいる浦野岳孝さんの活動を支援する目的で、岡谷エコーロータリークラブが環境保護活動の一環として2001年から支援を始め今年で21年目になりました。

稜線はちょうど花の開花時期でウルップソウや、ハクサンイチゲなどの高山植物が見事に咲いており、コマクサも開花を控え保護活動のかいもあって多くの株を観察することが出来ました。梅雨の晴れ間に登山者が登山道の脇に咲く高山植物を楽しみながらそれぞれの目指す頂きに向かって歩を進めていきました。

《次年度社会奉仕委員会》
・第261回 自然の玉手箱　6月26日（土）集合8時30分
　川岸小学校
　「化石発掘」とトンボの楽園」

◆会長年間報告「第31期を終えて」

会員各位のお力添えを頂きまして、３１期を終える事が出来る事に、心より感謝申し上げます。今期のスタートに当たり、ＲＩテーマより『ロータリーは機会の扉を開く』。２６００地区標語『ロータリーを通してあなたの世界を広げよう』。とスタートしました。しかし、新型コロナウイルス感染症の脅威が全世界に広がり、経済や社会生活にも、様々な困難が生じる中、ＲＩテーマ、又２６００地区標語と同じように、此のパンデミックの

■岡谷エコーロータリークラブ事務局
〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町3-2-45（マリオ内）
TEL／FAX 0266-26-7600　E-mail:ri2600@okaya-echo.jp
http://www.okayaecho-rotary.club

機会をどうするか、各メンバーがどの様に行動し、どの様な視点で動いたら良いのか考え、行動できた一年だった様に思います。

当クラブも３１期を迎え本来であれば、今後のクラブ運営、長期計画を策定する年であるはずでしたが、このコロナ禍の中、各行事の開催、中止等の方向性等を決断する為に、他クラブとの情報交換をし、パソコンからも毎日感染動向を注視しながら結論を出すことに集中、又クラブ例会等においても、開催、中止、進行内容の検討、少なくとも岡谷エコーロータリークラブのメンバーに、新型コロナウイルスの感染者を出してはならない事を第一として、理事会での議論に追われた一年でした。

新型コロナウイルス感染症による影響からクラブ内に置いても、新たにパソコンを購入させて頂き、今年度からＺＯＯＭ会議が出来る様手配、諏訪グループのインターシティーミーティングにも活用、そして諏訪グループ会長幹事会をはじめ、当クラブの理事会に置いてもズーム会議があたり前の様に何回も行われ、直接顔を合わせなくても数多くの会議が出来、クラブの進行の妨げになる事無く運営が出来ました。

本年度の行事予定も数多くありましたが、対外的な部分においては、通常の形式とは違いますが、開催する事が出来ました。自然の玉手箱に関しては全５回の予定でしたが３回の開催、岡谷工業高校に対する物造り支援事業は生徒の発表がＣＤによる報告となるなど社会の状況の変化に合わせた対応となりました。その他にも岡谷市へ、諏訪グループ合同で医療従事者への支援、又岡谷ロータリークラブと合同での支援を行なうなど、その他にも多くの行事が行われました。各役員、委員長さん方又担当の方々のお陰で無事遂行する事が出来ました。ただ残念でならないのが、会員相互の親睦を深める事業の開催が無に等しいなど、出来なかった事が何より残念でした。年度当初の、初めまして例会、クリスマス例会、５月の野外例会、その他にも３回の親睦家族例会を企画していましたが、ほとんどが例会型式もしくは中止を余儀なくされました。本当に残念でなりませんでした。

この様な新型コロナウイルス感染症による今までに無い経験をし、ワクチン接種も徐々に始まりましたが、まだまだ此の様な状況下で終息しそうな状況ではありませんが、３２期進藤龍吾年度が動き始めています。

次年度においては、今年度に出来なかった新規事業の計画実行、又会員相互の親睦を深める事業等、各所において素晴らしい提案が出ていますので、会員各位におかれましては、今年度以上に次年度への支援、協力をお願いしたいと思います。

最後になりますが、私を近くで支えてくれました、井口光世幹事、木下敏彦副会長をはじめ、役員理事の皆様本当に有難うございました。又事務局の千葉さん、マリオのスタッフの方々にも重ねて御礼申し上げます。

そして岡谷エコーロータリークラブの会員の皆様にも、今年度のコロナ禍の中でクラブ運営にご理解とご協力を頂きました事に誠に有難く感謝申し上げます。

以上３１期長田年度の報告と共に着岸のご挨拶とさせて頂きます。一年間本当に有難うございました。

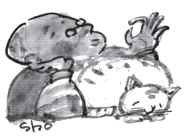
◆委員会事業報告

《親睦家族委員会》　木村和彦委員長

◆同好会事業報告

《旅美学》　木下敏彦委員長
《酒食学》　下山晃学長
《写学》《みどりの会》　藤森一俊学長
《刈学》　小野繁男学長

■ラッキーNo.59　下山　晃会員
■ニコニコＢＯＸ　211,000円
■出席報告
会員 47人 出席 38人 欠席 9人
出席率 86.3%　訂正 86.36%
■今週のプログラム
6月28日(月) PM6:30
マリオ／家族夜間例会
■次週のプログラム
7月5日(月) PM0:30
マリオ／決算報告・新年度方針

エコー文芸欄

鼻毛抜く
閑のできたり
梅雨入かな